

市民リポーター  
久慈 嵩さん

くじ たかし

若草町在住。  
室蘭市出身。元会社員。  
現在、登別市シルバー  
人材センターの広報編  
集委員を務めているほ  
か、観光ボランティア  
ガイドを務める。



夜間パトロールを行う若葉町内会の皆さん

# 守ろう、 わたしたちの 地域の安全

## 防犯に対する取り組み

車上ねらいや詐欺、  
空き巣などの犯罪が、  
わたしたちの生活を  
脅かしています。

地域の安全は地域で守ろう  
という考えで、

独自の防犯対策に取り組んでいる  
町内会などを訪問し、  
その取り組みなどにつ  
いてリポートしました。

地域の安全は  
自分たちで

「平成15年10月、緑陽中学校の  
学区で不審者の出没が続出し、  
地域の子どもたちは、地域で守る  
うと考えたのがきっかけで、夜間  
パトロールを始めました」と話す  
のは、若葉町内会（210世帯）の会  
長・松山 惇さん。  
夜間パトロールは、月1回、町  
内会の会員で、街灯の明かりが届  
かない暗がりなどを重点的にに行  
っているそうです。  
「パトロールを実施するに当た  
っては、新生交番の指導を受け、



松山 惇さん

夜光チョッキや赤色スター棒など  
もお借りしました。時間の調整が  
つくと交番の方もパトロールに参  
加してくれるんですよ。街灯を町  
内のすべての道路につけることが  
できれば明るくていいんですが、  
そうすることもできません。そこ  
で、交番の方から不審者を寄せ付  
けないために、住宅の門灯の点灯  
を皆さんにお願いし、明るいまち  
にしては、とのアドバイスを受け、



市民リポートは、市民の皆さんが自由に発想・企画するページです。

町内会の回覧で協力を要請したところ、皆さんに協力していただき大変助かっています」と話す松山さん。  
パトロールに参加できない方も  
門灯をつけることで協力しており、  
地域全体の防犯に対する意識の高  
さがうかがえます。

「パトロールをしていると、一人暮らしの高齢者からは、『枕を高くして眠れます』と喜ばれたり、緑陽中学校の生徒とすれ違うと『こんばんは、ご苦労さまです』と声を掛けられたりします。ボランティアで行っていますので、声を掛けられるのはすごくうれい  
です。以前、パトロール中にのぞきを発見したこともあるんですよ。犯人を捕まえることはできませんでしたが」とエピソードなども話してくれました。

子どもたちの  
安全を守るために

「青少年補導員を務めている関